

## こんな仕事をしています

### 職域班「暮らし支援隊」の活躍状況

「暮らし支援隊」は、高齢者が家庭に必要な軽作業ができなくなった場合の支援を、シルバーで迅速に対応できるようにすることを目的として平成22年6月にスタートした職域班です。

依頼のある作業は、例えば粗大ゴミの処分、簡単な大工仕事、家具の運搬等で、それら以外の簡単な作業も行っています。現在暮らし支援隊では、19名の会員が参加し、得意分野に応じて順次就業をしています。

### 「暮らし支援隊に参加して」

赤塚宏一(北稲八間)

暮らし支援隊が設置され1年、当初より作業の依頼件数も徐々に増加しています。

その背景には、近年の高齢化の影響で簡単な作業も自分でできなくなっている人が増えているのに、近所に手伝ってもらえる人がいないという悲しい現状があるのではないのでしょうか。

そのような中、私は高齢の依頼者に信頼してもらうために、礼儀と言葉使いに注意しています。

少し前に、印象に残った暮らし支援隊の出番がありました!!

その依頼は、珍しく子供さんからで、「自転車のタイヤがパンクした」ので修理してほしい。子供さんが、ちょっとパニックになっていました。どうやら、友達の家で早く遊びに行きたかったみたいです。私が手際よくタイヤのパンクの修理をすると、子供さんから「ありがとう!!」って大きな声で言われました。そんな一言を聞いたとき、暮らし支援隊に参加してよかったと思う瞬間です。

簡単な作業や、緊急で危険な作業もありますが、安全・迅速に作業をして依頼者の信頼と期待に応えていきたいと考えています。

## 環境部会

### 堆肥化推進事業について

国が推進する企画提案事業に採用され、平成20年4月から取り組んできた堆肥化推進事業は4年目に入りました。

この事業はシルバー人材センターと地方公共団体が連携し、共同で企画提案した事業を行うというものですが今年度が最終年度となる予定です。

そういう意味で今年度は、企画提案事業として採択された堆肥化推進事業を振り返り来年度以降をどのように取り組んでいくかを検討していく予定です。



販売中のシルバー堆肥

### シルバー堆肥、販売しています

前号でお知らせしました「シルバー堆肥」を、昨年11月22日から販売を始めました。せいか祭りでのサンプル配布で好評を得たこともあって、売れ行きは上々で、予想以上の注文が入っています。

現在の販売内容は、袋入堆肥で1袋10kg入り、20リットルの容量で、価格は1袋300円(消費税込)です。シルバー人材センター事務所で直接販売をしています。

なお、事務局にサンプルがあり、堆肥を手にとってみて頂くことができます。